

# 近ごろのわかい子ら

## とのつき合い方

『近ごろのわかい子ら』と言ったら、どんなイメージがわきますか？

ゆとり世代・草食系・ひきこもり・いじめ・児童虐待…。

メディアで取りざたされているのは、どうしてもマイナスなことが多いですね。

けれども、それが全てなののでしょうか？

『近ごろのわかい子ら』のデータをもとに、彼らとの付き合い方を探ってみましょう！

### 1. 参考図書（年鑑・白書など）で現状を調べてみよう

#### 『現代用語の基礎知識 2017』 自由国民社：発行（R031）

日本でたったひとつの新語・新知識年鑑と銘打って、113ものジャンルから現代社会の世相をとらえようとしている。2017年版の「★時代・流行」のジャンルから「若者」の頁に掲載されている「無理ゲー」「豆腐メンタル」「ほぼほぼ」etcを使いこなせるか？

#### 『統計でみる日本 2016』 日本統計協会：発行（R351）

人口の章では出生率の低下の折れ線グラフ、家族・世帯の章では家族類型別割合の帯グラフなど、統計数値と図表を用いて、過去からの移り変わりや現状が分かりやすく説明されている。教育の章では、「不登校」「いじめ」「暴力行為」の過去との比較がある。

#### 『日本国勢図会 2016/17年版』 国勢社：発行（R351）

初版発行者の故矢野恒太が、「青少年が客観的な判断力を養うために正しい統計が必要である」と考え、1927（昭和2）年から刊行されている統計年鑑。人口では、年齢構成の帯グラフやピラミッドグラフの国際比較が載せられている。教育の解説では、「ゆとり教育」や「ネット依存」についても触れている。

#### 『人口の動向 日本と世界 2016』 国立社会保障・人口問題研究所：発行（R358）

国内外の人口統計資料を収集し、必要なものには統計的加工を施して資料を作成している。例えば、年齢別将来推計人口の表は2035年、2060年まで。主要国の出生率・死亡率および自然増加率は、1950～2100年までの表が掲載されている。教育面でも、性・年齢・教育程度別人口割合の表が1970年と2010年を比較できるなど、工夫されている。

## 『日本子ども資料年鑑 2016』 KTC中央出版：発行 (R367.61)

日本の子どもに関する統計的な情報資料をできるだけ広範囲にわたって網羅的かつ体系的に収録してある。本年度のデータからは、自閉症などの発達障害をもつ児童の在籍率が年々高くなっている、児童相談所が対応した児童虐待の件数が前年比 20.5%増加、待機児童数が 5 年ぶりに増加、子どものメディア利用の多様化などが読み取れる。

## 『子供・若者白書 平成 28 年版』 内閣府：編 (R367.61)

子供・若者白書は、平成 22 年に施行された「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、毎年国会に提出している年次報告である。今回は、平成 28 年 2 月策定の「子供・若者育成支援推進大綱」、27 年 12 月決定したひとり親家庭・多子世帯等の支援・児童虐待防止対策からなる「すくすくサポート・プロジェクト」といった特集が掲載されている。

## 2. 図書を読んで対策を考えてみよう

### 『若者の取扱説明書 「ゆとり世代」は、実は伸びる』 齋藤孝：著 PHP 研究所：発行 2013 年 6 月 (H367.68 ㌻)

2002(平成 14)年の小中学校の学習指導要領改訂から、10 年間行われた教育を「ゆとり教育」という。この間に小中学校に在籍していた児童・生徒たちは、現在 20 代～30 代の大人となり、消極的でおとなしい傾向の「ゆとり世代」と呼ばれている。教育者として若者達と日々深く関わってきた著者が、彼らの本音を探り、将来を展望する。

### 『世界で大活躍できる 13 歳からの学び』 高橋一也：著 主婦と生活社：発行 2016 年 11 月 (H370.4 ㌻)

「教育界のノーベル賞」に選ばれた世界トップ 10 教師による、思考力・判断力・発想力を身につけるための超ユニークな学習法。21 世紀の国際社会で世界のリーダーを目指す子どもたちに向け、わかりやすく説明する。

### 『爆笑問題と考える いじめという怪物』 大田光/NHK「探検バクモン」取材班：著 集英社：発行 2013 年 5 月 (H371.42 ㌻)

いじめられた経験を持つ子どもたちや、いじめを起こさないように取り組む学校を現場取材。さらに尾木直樹氏らの専門家、いじめを乗り越えたゲストたちとの座談会によって、いじめに対処する方法を議論する。

**『高校生の参加と共同による主権者教育』** 宮下与兵衛：著 かもがわ出版：発行  
2016年4月（H371.6）

生徒会活動・部活動・地域活動をしている生徒は、主権者意識が高い。民主主義を学校づくりと地域づくりに取り入れ、民主主義的な主権者に育っていくために、生徒、教職員、父母、地域の人々に向けた1冊。

**『不登校ゼロ、モンスターペアレンツゼロの小学校が育てる21世紀を生きる力』** 木村泰子：著 水王舎：発行 2016年8月（H376.28）

大空小学校初代校長の木村泰子と論理教育の第一線を行くカリスマ講師出口汪が、みんな同じ教室で学びあう大空小学校の取り組みと、自ら考え主体的に行動する子どもを育てる『アクティブ・ラーニング』の本質に迫る。

**『みんな十四歳だった！ よしもと芸人が語る、何者でもなかった「あの頃」の話』** 吉本興業+新潮社：著 新潮社：発行 2012年9月（H779.04）

いつもテレビで見ている友近や又吉、山ちゃんやキム兄といったよしもとの人気者総勢17人が14歳の頃を振り返り、赤裸々に綴っている。「みんないろいろな十四歳を通り過ぎて、大人になりました。だから、君も大丈夫。」というメッセージに勇気づけられる。

### 3. 雑誌で最近の傾向を知ろう

**「青少年問題」** 季刊 青少年問題研究会：発行

青少年問題を幅広く収録した総合的専門誌。例えば、2014年4月の特集は「学校は原因かそれとも闘うヒーローかー学校病理の現在」「脱落型不登校と『危険な欠席』」。

**「児童心理」** 月刊 金子書房：発行

副題は、「こどもの心を育む教師と親のために」。2017年1月号の特集は、「前向きな子」。前向きな子の持つ特徴と、そうでない子への応援歌とを、様々な側面から考えていく。

**「社会教育」** 月刊 国土社：発行

研究者たちによる理論研究と、地域の実践家たちの体験交流を目指す市民のための市民の手による社会教育総合誌。2016年11月号の特集は、「地域ぐるみの子育て・子育て・親育ち」。

**「nicola（ニコラ）」** 月刊 新潮社：発行

新潮社が月刊発行しているファッション情報誌。2017年1月号では「中学生なんでも金メダルランキング2016」と題して、文具・お菓子・メイク・芸能人等180項目の第1位をあげている。

## 4. データベースで最新情報を得よう

### 日経テレコン 21

(中央図書館 3F でご利用いただけます)

日本経済新聞社が保有するわが国最大級のデータベースを提供する会員制のビジネス情報サービス。ニュース速報、新聞記事、雑誌記事、企業情報、人事情報など幅広いビジネス情報を満載。例えば、キーワード[若者 意識]で記事検索をかけてみると、「若者の結婚願望、子供時代、体験多いと強く」(日本経済新聞 2016 年 11 月 21 日朝刊掲載)等の記事がヒットする。

## 5. インターネットで調べよう

内閣府ホーム>共生社会政策トップ>子ども・若者育成支援>もっと詳しく>  
子ども・若者白書(旧青少年白書)>平成 26 年版 子ども・若者白書(概要版)>  
「特集 今を生きる若者の意識～国際比較からみえてくるもの」

<http://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h26gaiyou/tokushu.html>

日本を含めた 7 カ国の満 13～29 歳の若者を対象とした意識調査(我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成 25 年度))の結果からみえる、日本の若者の意識の特徴を、自己認識、家庭、学校、友人関係、職場、結婚・育児の 6 つの項目から分析し、子ども・若者育成支援施策に対する示唆を考察したもの。

### 「電通ワカモン HUMAN STUDIES 電通総研」

<http://dii.dentsu.jp/project/wakamon/>

高校生・大学生を中心に、10～20 代の若者の生活実態にとことん迫り、彼らのインサイトからこれからの未来を予見し、若者と社会がよりよい関係を築けるような新ビジネスを実現しようというサイト。ニュースレポート、アンケート、メディア、講演会等の記事が掲載されている。

《お問合せ先》

枚方市立中央図書館 参考資料室

☎573-1159 枚方市車塚 2 丁目 1-1

MAIL : [toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp](mailto:toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp)

TEL : 050-7105-8151

FAX : 050-7105-8152

「パスファインダー」とは、「道(path)」を「見つける人(finder)」という意味で、知りたいことを調べるのにどのように資料を探したらよいかを示す手引きのことです。